

令和元年度 教育研究業績書

氏名 尾上 正人

最終学歴	東京大学大学院人文社会系研究科第一種博士課程修了	
取得学位	博士(社会学)	
所属学会	日本社会学会、経済社会学会	
専門分野	産業社会学、社会生物学	
研究課題	人間社会の諸現象へのダーウィニズムの適用可能性	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・社会学基礎 ・産業社会学 ・産業と技術の発展 ・演習 I ～IV
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・応用社会学特論 I・II
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・経営学基礎
【研究上の特記事項】	特にありません。	
【教育上の特記事項】	特にありません。	
【社会的活動】	特にありません。	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	学生支援センター長(令和2年3月まで)	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(学術論文)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(学会発表)				
①階層帰属意識への、遺伝子一塩基多型 rs53576 の無視しがたい統制変数効果・「ツイッター遺伝子」の発見？	共同	令和元年10月5日	日本社会学会第92回大会	2大学での唾液サンプル調査をもとにDNAの配列を解析し、ある一塩基多型(SNP)が、本人の階層帰属意識や普段ツイッターを使っているかどうかに対して、無視し得ない影響を及ぼしていることを見出した。
②				
③				
④				
⑤				
(その他)				
①				
②				
③				
④				

⑤

|

|

|

|

|